

第55回生存圏シンポジウム「森林資源の持続的利用を支えるバイオサイエンス」

(主催：名古屋大学大学院生命農学研究科、京都大学生存圏研究所)

後援：日本木材学会将来構想委員会、組織と材質研究会)

日時：2006年10月20日(金) 13:00-17:40

場所：名古屋大学 環境総合館1階レクチャーホール

(http://www.nagoya-u.ac.jp/camp/map_higashiyama/) 49の建物

参加費：無料

プログラム

13:00-13:10 開会の挨拶

(座長：藤井智之、森林総合研究所 多摩森林科学園)

13:10-13:30 浅田隆之(王子製紙) バイオマス資源循環型植林基盤技術の開発

13:30-13:50 安部 久(森林総研) 東南アジアにおける木材生産の現状と用材生産のための研究の重要性

13:50-14:10 山本浩之(名古屋大学) 早生樹の植林フィールドから始まる木質バイオサイエンスの未来

14:10-14:30 船田 良(東京農工大) 形成層活動と木部細胞分化

(座長：福島和彦、名古屋大学生命農学研究科)

14:30-14:50 高部圭司(京都大学) 木質化細胞壁の形成

14:50-15:10 梅澤俊明(京都大学) 木質形成代謝ネットワークの解析とその樹木バイオテクノロジーへの展開

15:10-15:30 休憩

15:30-15:50 鮫島正浩(東京大学) 細胞壁多糖の分解酵素

15:50-16:10 渡辺隆司(京都大学) バイオリファイナリーのツールとしての選択的白色腐朽菌のラジカル制御系

(座長：杉山淳司、京都大学生存圏研究所)

16:10-16:30 斉藤幸恵(東京大学) 木材からつくる炭素材料

16:30-16:50 近藤哲男(九州大学) 水と生物機能を用いるバイオ錬金術：バイオアルケミー

16:50-17:10 金山公三(産総研) 森林資源を工業製品に利用するための近道(らしきもの)

17:10-17:40 総合討論

シンポジウム終了後、懇親会(会費制)を予定しています。

○参加申し込み・お問い合わせ(氏名、連絡先を下記までご連絡ください。)

名古屋大学大学院生命農学研究科 福島和彦(kazu@agr.nagoya-u.ac.jp)

京都大学生存圏研究所 杉山 淳司(sugiyama@rishi.kyoto-u.ac.jp)